

平成25年10月28日

広島大学大学院文学研究科
第11回「文藝学校」講演会の開催について

広島大学大学院文学研究科は、株式会社今井書店と共催で、第11回「文藝学校」講演会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

■日時 平成25年11月23日（土・祝） 13:30～17:00

■会場 本の学校 今井ブックセンター2階 多目的ホール
（鳥取県米子市新開2丁目3-10）

■プログラム

演題1：アメリカ文学とは何か

講師：広島大学大学院文学研究科 准教授 大地 真介

演題2：話すということ

講師：広島大学大学院文学研究科 教授 高永 茂

演題3：簾を上げた清少納言

講師：広島大学大学院文学研究科 教授 妹尾 好信

■参加費 無料

■お申込 NPO法人 本の学校（0859-31-5001）へお申し込み下さい。

【お問い合わせ先】

広島大学大学院文学研究科

運営支援グループ 今津 大紀

TEL:082-424-6611 FAX:082-424-0315

Email: bun-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

第11回「文藝学校」講演会



日時

平成25年11月23日（土・祝）
午後1時30分～5時

会場

本の学校 今井ブックセンター2階
多目的ホール

鳥取県米子市新開2-3-10
Tel 0859-31-5001

主催

広島大学大学院文学研究科「文藝学校」
・NPO法人「本の学校」

共催

(株) 今井書店グループ
・「本の学校」郁文塾

入場無料

講師

大地 真介（広島大学文学研究科准教授）

講演題目・要旨

アメリカ文学とは何か

アメリカの文化や社会の根幹をなす民主主義とピューリタニズム（キリスト教の一派）が、どのようにアメリカ文学に影響しているかということ、同文学を代表するハーマン・メルヴィルの『白鯨』、マーク・トウェインの『ハックルベリー・フィンの冒険』、ヘンリー・ジェームズの『鳩の翼』、ウィリアム・フォークナーの『八月の光』などを通してまいります。

講師

高永 茂（広島大学文学研究科教授）

講演題目・要旨

話すということ

「話す」という行為は「書く」と対比的にとらえられますが、その内実はずいぶん違っています。「話す」ことについて言語、副言語、非言語（ジェスチャー）という3つの観点から考察してみたいと思います。

講師

妹尾 好信（広島大学文学研究科教授）

講演題目・要旨

簾を上げた清少納言

中宮定子に「香炉峰の雪いかならむ」と問われた清少納言は、簾を高く上げて外の雪景色を見せます。『枕草子』の有名場面で、古来しばしば絵画化されています。では、この時清少納言はどのように簾を上げたのでしょうか。典拠となった『白氏文集』や同じ話を載せる諸文献の記述、絵画の図像などを参考に考察してみます。